

金日成主席とチュチェ思想

ブルガリア金日成・金正日主義研究グループ
カメン・タスコフ

金日成主席がチュチェ思想を創始したのは歴史に永遠に記されています。チュチェ思想は、党と国家にたいする金日成主席の指導を継承した金正日総書記と金正恩総書記によって、朝鮮の現実の変化に即して創造的に発展してきました。チュチェ思想は人間を社会的存在として見なし、人間を中心にすえた革命的な世界観です。チュチェ思想は人間、人民大衆の自主性とその実現に関する革命的な学説です。チュチェ思想は朝鮮労働党の思想的及び組織的活動の基礎であり、革命と社会主義建設を遂行するための指導指針であります。

金日成主席は党と国家の草創期から朝鮮人民の意識的で創造的な力に依拠し、強大かつ、自主的で繁栄する国家を打ち立てるために、朝鮮の社会を根本的に改造することを綱領で示しました。朝鮮労働党は全朝鮮人民をこの綱領の遂行へと力強く組織、動員しました。

金日成主席の指導なくして今日の朝鮮民主主義人民共和国はありえません。

金日成主席はチュチェ思想を一つの思想体系として発展させ、チュチェ思想にもとづいて社会を改造することにより朝鮮革命における諸問題を立派に解決しただけでなく、社会主義建設の各段階における理論的・実践的諸問題を明らかにしました。

チュチェ思想は、人間は自主性、創造性、意識性をもつ社会的存在であると明らかにしています。それによると、人間は社会で自己の役割を自覚すれば革命家になり、そうでなければ奴隷になるということです。こういうことから党と国家が人間を真に愛し、人民のために働くためには、人間の自主性と創造性、意識性を大事にし、その人間の属性を発展させるのに自己の活動を志向させなければならないという政治的結論を下すようになります。こうした見解にもとづいて金日成主席は生涯の最期の瞬間まで朝鮮人民の福祉のために献身しました。金日成主席は思想を基本としてとらえ、朝鮮人民に正しい道を示し、革命を継続させる正しい世界観の確立に第一義的な意義を付与し、彼らが自力更生の力ですべての難関を克服するよう鼓舞しました。今日、チュチェ思想はすべての思考と行動の指針となっています。

金日成主席のチュチェ思想の創始における不滅の功績は、自主性に関する解釈です。チュチェ思想は自主性にたいするより高まる要求、人間の発展を脅かすすべての自然的及び社会的束縛からの解放にたいする要求についてもっとも正しく解明しています。

マルクスとエンゲルス、レーニンの古典は、経済が人類の歴史において決定的な役割を果たすとしました。こうした見解は人民大衆にたいする思想教育を疎かにし、経済建設にのみ偏るようになります。人民大衆の創造性を推し進める要因である思想教育をおろそかにすれば、経済建設そのものも沈滞させ、しまいには社会主義を破壊する諸条件を誘発します。もし、社会発展で思想の決定的役割を無視すれば、それは人々の思想的変質を生み、その次は党と国家の変

質を招き、しまいには社会主義制度そのものの破壊を招くようになるでしょう。

こうした現象を克服するためにチュチェ思想の創始者である金日成主席は終始一貫すべての分野で思想革命を優先させる原則を堅持し、思想活動、政治活動をすべての活動に優先させました。人類発展の推進力は金ではなく、偉大な思想です。

人間活動の客観的な条件も重要であるが、それは決して決定的ではありません。チュチェ思想は歴史発展において決定的な役割を果たすのは客観的な条件ではなく人間である、社会的運動もちろん物質の運動である、しかし、自然の運動には主体がないが、社会的運動には主体があると示しました。

チュチェ思想は真の生活が新しくて進歩的なことを志向する人民の闘争を通じて創造されると解明しました。そうした闘争はもっとも崇高で、美しいです。まさにそうした闘争過程に自主性が実現されます。

自主性はまず、自主的な生活にたいする熱望であり、自己の運命の主人になろうとする人間の要求であるということです。

また個人の自主性が実現される集団主義的な生活方式であるということです。言い換えれば、集団と社会の意識的で創造的な闘争を通じて人々は自己の運命の主人としての権利を行使し、役割を果たします。

自己の運命の主人として生きることはもっとも立派な生活方式です。

これに反するのが屈従と従属、援助と保護にたいする哀願です。屈従と従属、哀願は、奴隷や軟弱な存在の特徴です。奴隷として生き、他人からもらう金で生きるのは人間の本性に反します。

金日成主席が創始したチュチェ思想は、人民にたいするいかなる形態の支配も排撃します。チュチェ思想はまた、人民大衆を無視し、その上に君臨する官僚主義を排撃します。

それゆえ、金日成主席は一生涯、党と国家のすべての幹部が人民の中に入って彼らの幸福な生活を保障するために努力するよう強調していました。

金日成主席と金正日総書記の以民為天の思想は、チュチェ思想の絶対的で変わらない原理を反映しています。

以民為天の思想は革命の主体である人民大衆の決定的役割と彼らにたいする愛と信頼にたいするもっとも科学的な見解にもとづいています。

人民大衆が革命と建設の主人であり、革命と建設の推進力であるという革命理論にもとづいて金日成主席と金正日総書記は常に人民の中に入って人民大衆の力と創造的知恵を引きだし、彼らの要求と利益に合わせてすべての問題を解決しました。

以民為天の思想とそれを具現した指導があつて、朝鮮民主主義人民共和国は真の人民の国、人民大衆中心の社会主義国家としての威力を誇示することができました。

チュチェ思想は社会主義道徳を成す要素についても明らかにしました。

その一つは、人間の自主性と創造性を大事にし、発揮させることです。自分の自主性と創造性を大事にし、他人を自主的で創造的な人間として認め、自主性の実質的な実現のために

集団と社会の中で共同の創造的活動を遂行していくのは、信頼の基礎を成します。信頼を大事にすることは社会主義道徳の根本であります。社会主義社会で人々間の信頼はおのずと形成されるわけではありません。それは集団活動での私心のない相互協力、各構成員間の同志的愛から生まれます。共同の利害関係と志向、目的と理念によって団結した人々相互の協力と好意、尊敬の感情は信頼の基本内容です。

それゆえチュチェ思想は、上級と下級、目上の人と目下の人、男性と女性の関係も含めたすべての人間関係が、信頼と平等の原則で成されることを求めます。主人と彼に仕える人の間には真の信頼などあり得ません。真の自主性と人間の創造的能力の発展は、厚い信頼と実際の平等の雰囲気でのみなされます。

二つ目は、人間にたいする愛と信義であるということです。社会主義社会で社会と集団の利益のために何の私心もなく働くことはすべての人の道徳的義務です。また他人を愛し、見守ることは信義を生みます。社会主義社会で人間同士の信頼がなければ、集団的及び社会的活動を行うことができません。

幸福な明日のために、今日の創造的改造活動を力強く行うことはチュチェ思想が示した生活哲学の中核であるといえます。それゆえ、チュチェ思想は、革命を人間にたいする最も大きな愛の表現である人民大衆の自主性を実現する過程と定義し、それを完全に実現することにその目的をおいています。革命は人間を完成する道であり、方途であります。

金日成主席がチュチェ思想の創始で積み上げた不滅の功績は思想、技術、文化の3大革命の理論を提示したことです。思想、技術、文化の3大革命は、思想、技術、文化をはじめとした社会生活のすべての領域に残っている古くて腐敗したすべてのものを一掃し、新たな社会に固有な、思想と技術、文化を創造するための闘争形態、闘争方途です。朝鮮労働党の経験が示しているように、3大革命を成功裏に遂行するとき、社会を古い思想、技術、文化の束縛から解放することができます。

3大革命を遂行する上で朝鮮労働党は思想革命を確固と優先させながら技術革命と文化革命を同時に推し進める原則を堅持しました。これは人間の活動で思想が果す役割と革命闘争における思想活動の重要性にたいする科学的な分析にもとづいたもつとも明確な路線です。

この他にも金日成主席の功績はもつと言及することができますが、もつとも論理的で進歩的な思想理論体系であるチュチェ思想を創始した功績からして、世界は主席を世界的な領袖として尊敬しています。金日成主席は自らの闘争によって朝鮮人民の民族的領袖になっただけでなく、すべての進歩的人民の領袖になりました。金日成主席は朝鮮人民ばかりでなく、全世界の人民の心の中に永遠に生きています。

金日成主席が積み上げた業績は不滅であり、それによって朝鮮は永久不滅でしょう。

金日成主席のような領袖がもつと多いならば、自主性と自由が実現された世界はもつと早く到来するでしょう。

金日成主席に深い敬意を表します。